

中部圏における空港のあり方について

目 次

第2回～第4回航空分科会でのヒアリングにおける主な要望・指摘事項 及び中部圏における空港のあり方を巡る主な論点	1
中部国際空港及び県営名古屋空港の位置関係・概要	2
中部国際空港の利用状況	3
中部国際空港における航空ネットワークの現況	4
中部国際空港における貨物取扱施設の展開	5
ボーイング787の部品輸送について	6
国内線・国際線が一体となったターミナル	7
中部国際空港の利用促進・需要喚起のための取り組み	8
中部国際空港と県営名古屋空港	9
中部国際空港における航空需要予測（参考）	10

第2回～第4回航空分科会でのヒアリングにおける主な要望・ 指摘事項及び中部圏における空港のあり方を巡る主な論点

- 中部国際空港について、将来的に2本目の滑走路が必要。
- 中部国際空港におけるエプロンや誘導路等、利用者の多様なニーズへの対応上不可欠な空港機能の強化が必要。
- 中部国際空港については、今後需要に応じた段階的な施設整備が必要。
- 県営名古屋空港との関係における定期路線の中部国際空港への一元化について、地域における調整を見守るとともに、必要に応じ対処をお願いしたい。



関係者からのヒアリング結果等を踏まえると、中部圏における空港のあり方に関する論点については、おおむね下記の事項に集約されるものと考えられる。

- 1 中部国際空港における今後の活用方策や整備方策について、どのように考えるべきか。
- 2 定期航空一元化を前提に中部国際空港を建設した経緯を踏まえた、中部国際空港と県営名古屋空港との関係について、どのように考えるべきか。

中部国際空港及び県営名古屋空港の位置関係・概要



県営名古屋空港

1. 設置管理者（種別）

愛知県（その他飛行場）

2. 沿革

昭和33年 米軍より返還
 昭和35年 「名古屋空港」と改称
 平成17年 その他飛行場へ

3. 施設

- ・滑走路：2,740m × 1本
- ・運用時間（利用時間）：15時間（7:00～22:00）

4. 利用状況

旅客数： 国際 1,755人/年 国内 305,744人/年
 （国際旅客はビジネスジェットの利用者により構成）



中部国際空港

1. 設置管理者（種別）

中部国際空港(株)（第1種）

2. 沿革

平成17年 供用開始

3. 施設

- ・滑走路：3,500m × 1本
- ・運用時間：24時間

4. 利用状況

旅客数： 国際 5,056,912人/年 国内 7,021,552人/年
 貨物量： 国際 233,059 t /年 国内 40,815 t /年

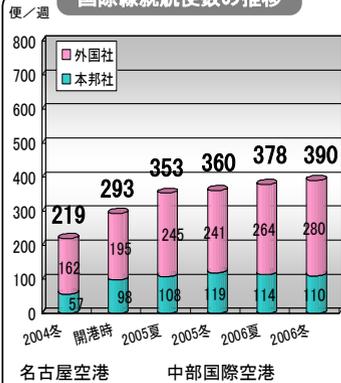


中部国際空港の利用状況

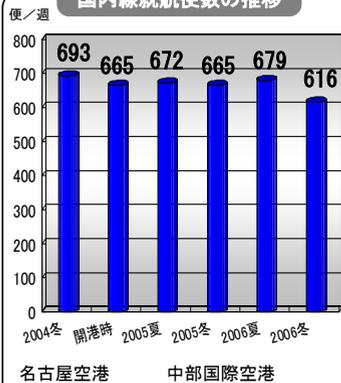
愛知万博に係る特需等を背景に、平成17年度においては国際航空旅客は対前年比3割増、国際航空貨物は同約1.3割増など、旅客、貨物とも国際線を中心に利用状況は好調であったが、平成18年度に入り需要の伸びは鈍化。

就航便数の推移

国際線就航便数の推移



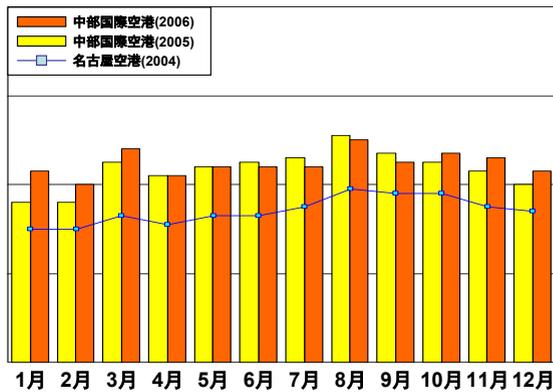
国内線就航便数の推移



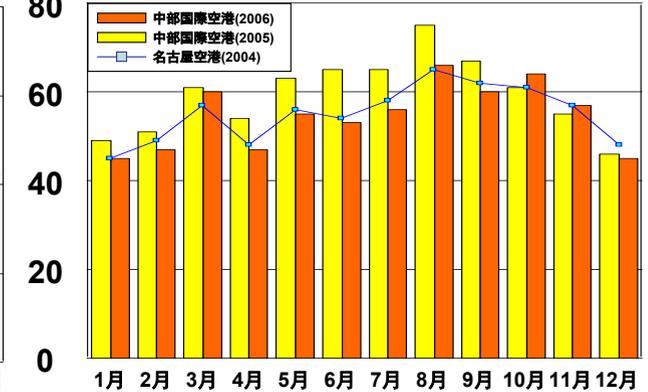
※平成19年2月現在
 ※2006年冬期は事業計画認可ベース

航空旅客数比較

(国際)

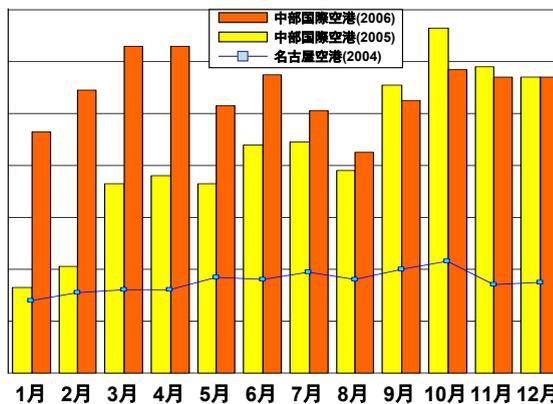


(国内)

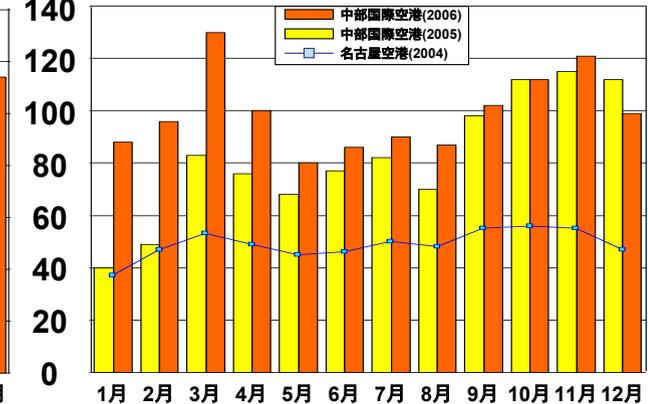


国際航空貨物取扱量比較

(輸出)



(輸入)



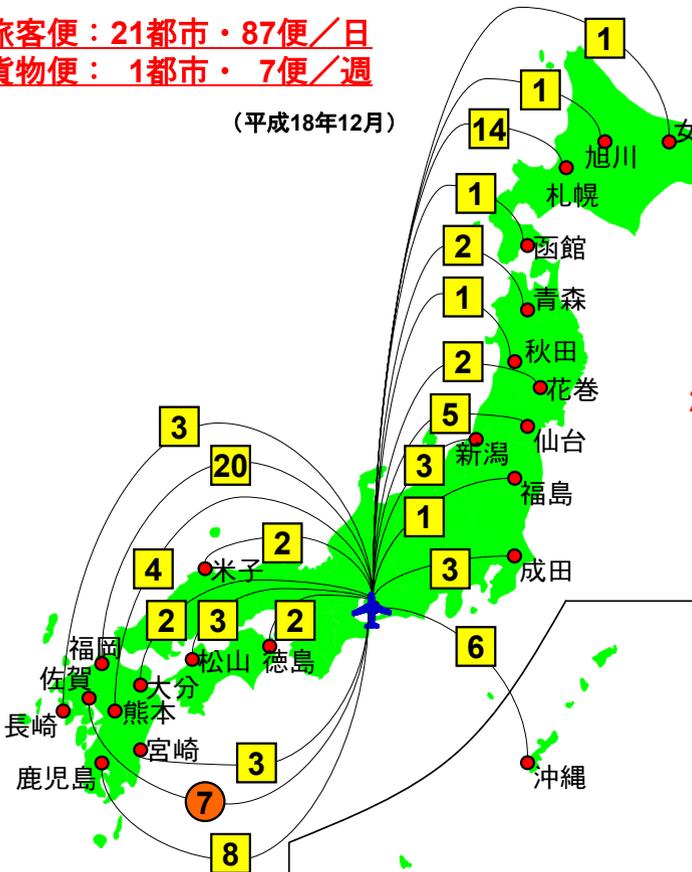
※ 中部国際空港の2005年1月及び2月は、名古屋空港における実績を含む。 ※数値は速報値を含む。

中部国際空港における航空ネットワークの現況

国内ネットワーク

旅客便：21都市・87便/日
 貨物便：1都市・7便/週

(平成18年12月)

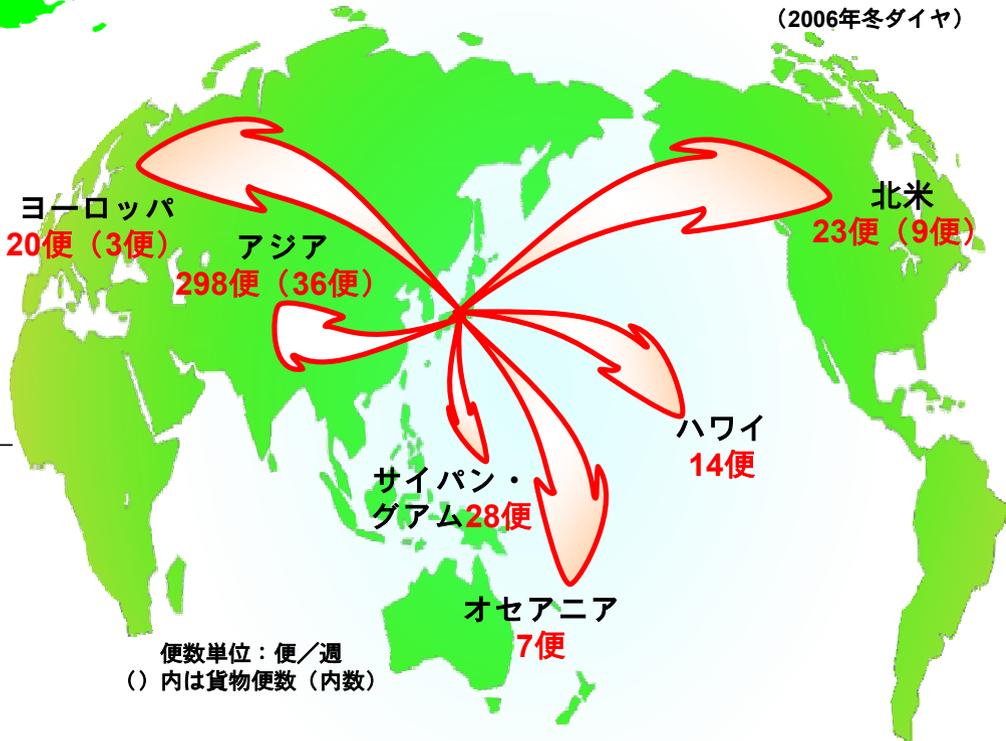


1 旅客便数単位：便/日
① 貨物便数単位：便/週

国際ネットワーク

就航国（地域）数 16力国・地域
 就航都市数 39都市
 就航便数 390便/週
（うち貨物専用便48便/週）

(2006年冬ダイヤ)



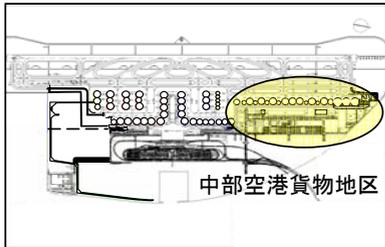
便数単位：便/週
 () 内は貨物便数 (内数)

就航国（地域）

アメリカ、〈グアム〉、フランス、ドイツ、フィンランド、ロシア、UAE、韓国、中国、〈台湾〉、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、オーストラリア

(出典) 中部国際空港株式会社資料

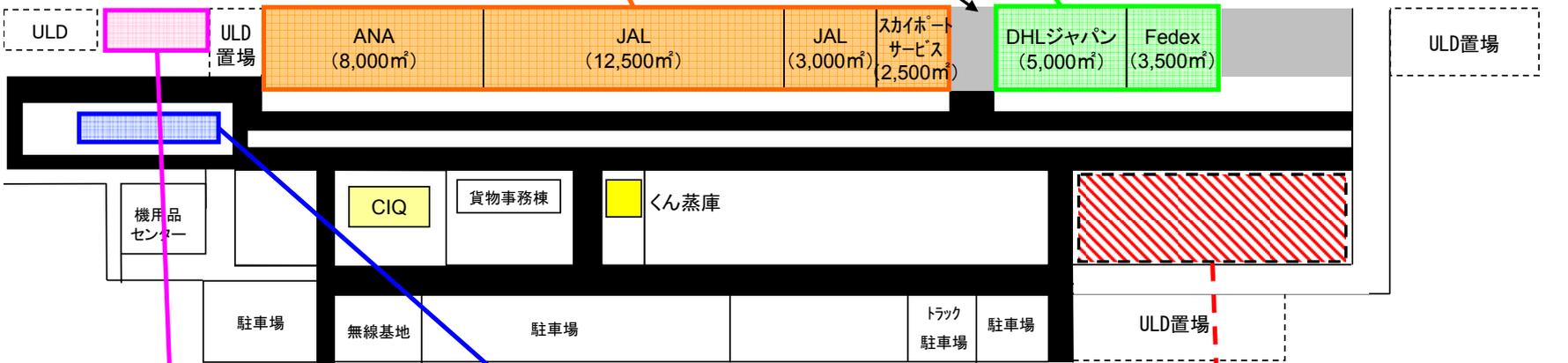
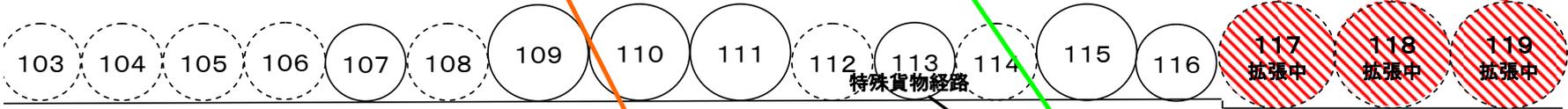
中部国際空港における貨物取扱施設の展開



第1国際貨物上屋
2006年9月拡張 26,000m²

第2国際貨物上屋
2006年1月拡張 8,500m²

貨物機専用スポット
2007年夏竣工予定 3スポット



国内AL上屋
2005年2月供用 2,020m²

国内FD上屋
2005年2月供用 1,590m²

第3国際貨物上屋
2007年秋竣工予定 9,500m²

ボーイング787の部品輸送について

■海上輸送

三菱重工(大江工場)
川崎重工(名古屋第一工場)
富士重工(半田工場)

各工場より船にて部品を海上輸送



■セントレア内における部品の運搬



港湾地区

海上輸送した部品をセントレアの港湾地区より陸揚げ。

駐機場 (Spot: 404・405・406)

特殊ローダーを使い、部品を輸送機 (ボーイング747LCF:ボーイング747-400の改造機)に積み込み。

ステージングラックエリア

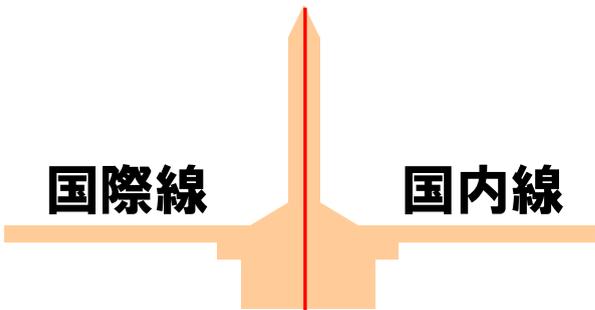
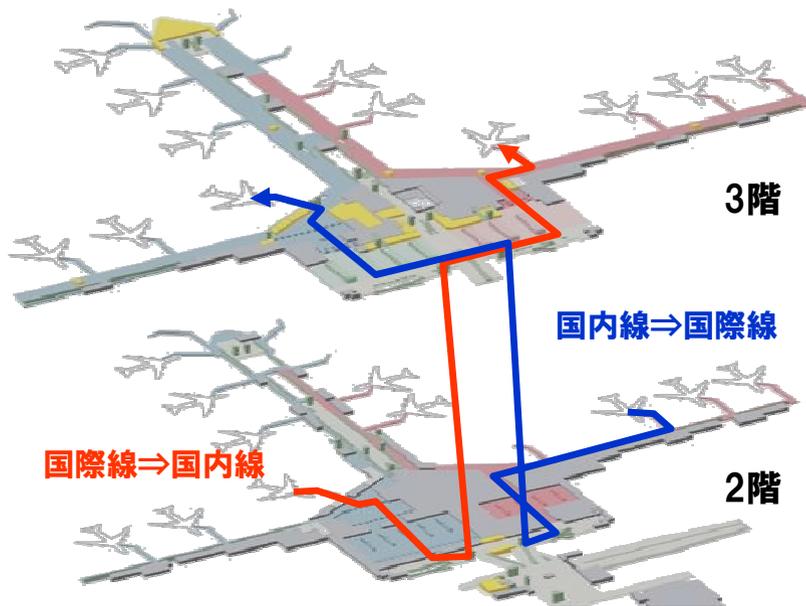
部品を輸送機に積み込むために、特殊ローダー(左図)に積み替え。

輸送機で空輸

最終組み立てのため、米国へ空輸。

国内線・国際線が一体となったターミナル

- 国際線と国内線を同じフロアの左右に分け、出発を3階、到着を2階と完全分離。
- 日本各地から、海外への乗り継ぎも非常に便利。



中部国際空港の乗継利便性

国内線の就航状況

	成田	関西	中部
便数 / 日	18	54	87
就航都市数	8	15	22

乗継時間(MCT)

	成田第1	成田第2	関西	中部
国際→国内	130	110	75	80
国内→国際	110	110	80	70
国際→国際	60	110	90	60

※平成19年2月現在

中部国際空港と県営名古屋空港

- 平成 8年12月 【第7次空港整備五箇年計画（閣議決定）】
中部圏における新たな拠点空港の構想について、定期航空路線の一元化を前提に、関係者が連携して、総合的な調査検討を進め早期に結論を得た上、その事業の推進を図る。
- 平成 9年12月 運輸大臣が閣僚懇談会において、愛知県知事から県が責任をもって一元化を行うとの文書の提出があり、一元化についての道筋がついた旨を説明。
- " 【「中部国際空港の整備について」大蔵大臣・運輸大臣の合意】
名古屋空港における国内・国際定期航空路線については、中部国際空港へ一元化する。一元化後の名古屋空港については、自衛隊が使用していること、愛知県がゼネラル・アビエーション空港として活用したいとの意向があることを踏まえ、所要の措置を講ずる。
- 平成13年11月 【愛知県知事から航空局長あて文書】
名古屋空港は、中部国際空港開港後も小型機やコムーター航空を中心としたゼネラル・アビエーション空港として生かして、地域の発展の基盤として活用を図ってまいりたい。
- 平成17年2月 県営名古屋空港開港（2月17日）（平成16年9月1日設置許可）

中部国際空港と県営名古屋空港の路線

中部国際空港単独路線： 女満別、釧路、旭川、札幌、函館、青森、花巻、仙台、福島、成田、徳島、米子、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

16路線

県営名古屋空港単独路線： とちかち帯広、山形、高知龍馬、北九州

4路線



競合路線： 6路線

秋田、新潟、松山、長崎、熊本、福岡

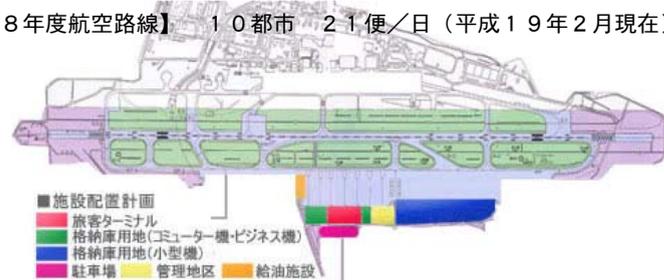
※平成19年2月現在

県営名古屋空港の概要

- 設置者： 愛知県
- 指定管理者： 名古屋空港ビルディング株式会社
- 面積： 約164ha
- 滑走路の長さ： 2,740m 幅： 45m
- コムーター機用： 7スポット、大型ビジネス機用： 6スポット、
小型機用： 75スポット
- 運用時間： 午前 7時から午後 10時まで
- 駐車場： 455台（身体障害者用7台含む）

【平成17年度利用状況】 コムーター航空旅客数： 305,744人
国際ビジネス機飛来数： 90機

【平成18年度航空路線】 10都市 21便/日（平成19年2月現在）



■施設配置計画

- 旅客ターミナル
- 格納庫用地(コムーター機・ビジネス機)
- 格納庫用地(小型機)
- 駐車場
- 管理地区
- 給油施設

中部国際空港における航空需要予測（参考）

		実績値	推計値(暫定値)		年平均伸び率	
			2005	2012	2017	2005～2012
国内 旅客数	中部ブロック	720 万人	840 万人	870 万人	2.2%	0.7%
	うち中部国際空港	680 万人	700 万人	730 万人	0.4%	0.8%
国際 旅客数	中部国際空港	530 万人	680 万人	810 万人	3.6%	3.7%
国際 貨物量	中部国際空港	23 万トン	29 万トン	38 万トン	3.2%	5.5%
中部国際空港発着回数		10.5 万回	11.8 万回	12.7 万回	1.7%	1.5%

便数制約：[羽田・成田]羽田国内37.7万回/年、成田国内2万回/年、国際(成田＋羽田)24.5万回/年

[伊丹]ジェット200回/日、プロペラ170回/日 [神戸]2万回/年